

をありがとうございます。人は何に魅力を感じて、自分でも選ばれる理由はあるんだ、というか作り放題なんだということがわかりました。そのため、自分自分のことをもっと知りたいと思いました。

特に「自分を選ぶ理由」については自信のなかったところなので、自分の魅力を理解して選ばれる理由にする方法を学ぶことができました。自分の属性は何なのか？憧れられるポイントは何なのか？共感ポイントは何なのか？それらを理解することで実績がショボくても選ばれる理由は無限に作り出せるということがわかりました。私の話になりますが、実際にTwitterでフォロワーもリプも増えてきて、ブログにもコメントがついて、リストも取得できて、ファンができつつあるということを実感すると、「あ、私でもファンを作ることはできるんだ」と自信になりました。ファンができるという未来は正直なところあまり見えてなかったもので、かなり驚いています。

ワークシートにつきましては、

まだまだ自分について知れていないな、深堀できていないなと感じました。

具体例がかなり充実していたので、取り組みやすく、「こうやって考えればいいのか」と思考回路をつないでくださっているような感覚になりました。

本日は短時間しかできなかったのですが、時間が取れるときに真剣に自分と向き合っってワークシートに取り組みます。

最後に重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

(Iさん 女性)

■を知ることで、
自分に希望を持つことができそうだと感じます。

この3つの要素を取り入れるだけでも、
ファンがどんどん増えそうだなと感じました。

■が原因で
相手に誤解を生んでしまう。
というのが確かに。
と思いました。

今までは■ためのもの。
という目的は分かっていたのですが、
書かないせいで誤解を生むという発想は
持っていませんでした。

筋トレでも、あの人は運動が好きだからできるんだろう
な。とか、
ビジネス系でも、なんか胡散臭いとか思われてしまうの
は、
こういった■を語らないから
だということだろうなと思えました。

他人の記事を見るときには、
どこに [] を感じたか、
[] をメモしながら、
その時にはどの要素が使われているかを

確認しながら分析します。

他人の記事をパクるときにも
付加価値をガンガンつけることができるので、
相手より価値あるコンテンツを作れそうだと思います。

僕自身、意識をしないと、自分が書きたいことを書こうと
してしまい、一行の文章に意味を込めずに適当に書いてし
まいがちです。

今回の [] は本当に意識すべき内容だと思うので、
文章を書くときは、常に忘れないように、
紙に書いて見える位置に置いておこうと思います。

ありがとうございました。

(Hさん 男性)